

令和7年度 人権感覚を 豊かにする ための研修④ (職業倫理)

「ノーマリゼーション」とは「知的に障がいのある人たちの生活条件を知的に障がいのない人たちの生活条件に可能な限り近づける」ということ。

本研修では、「あらゆる人が当たり前に生活できる社会、環境を作る」というノーマリゼーションの父、バンク・ミケルセン氏の思いを受け継ぐ千葉氏より、福祉先進国デンマークでの取り組みを参考にしたこれからの日本の福祉についてその思いをお話しいただきます。今回、この研修のため、日本とデンマークをオンラインでつなぎ、撮影させていただきました。

福祉の原点やその柱である「ノーマリゼーション」の理念、さらには千葉氏が提唱する「包括的ノーマリゼーション」の概念や「日本の未来社会をより良くするために必要な視点」や「福祉人として継承すべき思い」など、福祉に従事する者として、一度は聞いておきたい先駆者の声を、今回、社会福祉法人の経営者・管理者の皆さまに向けてお届けいたします。ぜひ、ご受講ください。

先駆者の語りを未来へ紡ぐ 「包括的ノーマリゼーション」の理念と 福祉先進国デンマークから学ぶ これからの日本の福祉

- (1)「ノーマリゼーション」理念とバンク・ミケルセン氏との出会いから
- (2)千葉氏が提唱する未来の共生社会を築くための「包括的ノーマリゼーション」
- (3)デンマークの福祉に学ぶ！これからの日本の社会に求められる価値観の転換
- (4)「しあわせ」について考える！民主主義を理解するための3つのキーワード
- (5)福祉人として継承すべき「ノーマリゼーション」に込められた想い

講師

NPO法人バンクミケルセン記念財団 理事長
日本・デンマーク生活研究所 理事長

プロフィール

千葉 忠夫 氏

1941年、東京都生まれ。1967年に福祉国家の実態の勉強を志して渡欧。デンマークで社会福祉の実践を学び、現地で社会福祉現場活動に従事。70年代に生涯の師バンク・ミケルセン氏(ノーマリゼーション実践提唱者)と出会う。1991年N.E.バンクミケルセン記念財団を設立。1997年には日欧文化交流学院を設立。2008年「社会福祉における国際協力の推進」の功績により外務大臣表彰。元日欧文化交流学院学院長、令和元年旭日双光章受章、N.E.バンクミケルセン記念財団理事長。ニューズウィーク誌が2006年に「世界が尊敬する日本人100人」に選出。

千葉氏が創設したフォルケホイスコーレであり、ホーゲンセにあるノーフェンスホイスコーレ(フォルケホイスコーレ=デンマーク政府の認可を受けたデンマーク特有の国民高等学校)を現在の天皇陛下が皇太子時代に表敬訪問し、その様子は全国放送された。



配信期間

1月9日(金) 11:00 ➡ 2月27日(金) 16:00



個人単位

開催方法

動画配信型オンデマンド研修 約50分

お申込みいただく際に「オンデマンド(動画配信)」にお申し込みをされるにあたって」をご確認ください。

対象

福祉施設(全分野)の施設長・管理職員等 個人単位でお申込みください

受講料

お1人につき 2,000円(税込) ※キャンセル等による返金は致しかねます。予め、ご了承ください。

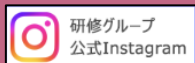
申込締切

令和7年12月5日(金)まで
申込締切後1週間以内に受講決定の通知をメール送信します

【お問い合わせ】

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループ

Phone:06-6762-9035



お申し込みは
こちらから